

さあいよいよ!地域演劇祭 フェスティバルは熱を帯びて!

開会式

6時30分定刻で開会式が始まりました。



歓迎の挨拶を贈る
細井洋行 西和賀町長



感謝のご挨拶と、銀河ホールでの
フェスティバルの感動を全国にと挨拶
する全演議長 後藤陽吉

黒沢尻歌舞伎に仰天!

続いて、太鼓のが、いくぞいくぞとばかり観客を人情の世界へ誘い込む。黒沢尻歌舞伎



が始まっていく。黒沢尻歌舞伎の歴史は、明治の終わり頃までさかのぼり、当時の黒沢尻、現在の北上市で盛んでありました「娘歌舞伎」や「芸者歌舞伎」がその始まりとされております。戦前、戦後を通じて、庶民の間で親しまれてきた伝承芸能でありましたが、その後のテレビや映画などの娯楽の発達に伴い次第に廃れていたところを、昭和55年に保存会を結成して、本格的な保存

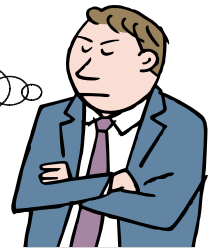
伝承活動に取り組むようになりました。県内外はもちろん、海外の舞台経験も豊富です。

見ていただいた方の感想は、ゆっくりの流れの中で楽しかった。(北上・男性)すごかった、久しぶりに見た(町内の女性)。よかった。もっと見たかった。人情がいい。(女性)

受付もつり回転ごーす



謎の湖畔ステージで交流会は決まったが、天気は大丈夫だろうか



中野さんの心配は現実のものになりそうです

**おにぎりも百円、お茶も百円！
それでいいんですか？！
私たちの空腹を満たすロビーの即席売店！
じつにコンビニエンス！**

飲食はロビー、ホワイエかホールの外
外のテーブル席をご利用



闇の交流会 潜入ルポ

**創造や平和の罅隙から年金罅隙まで
それは深夜、秋の虫も居眠りするまで
続いた。**

記者は貴重な現場に侵入することに成功しました。

それは、フェスティバルの宿の一つになっている温泉旅館。傍らには、地元の酒屋さんから紹介されたという岩手の銘酒。すでに空っぽのゴミと化した自家製の漬け物の入れもの。

近所に民家がないことが幸い。劇団のこと、世界情勢のこと年金のこと、なにがどう関連しているのか誰も疑わず「あっぺとっぺ」に話は行ったり来たり、ひっくり返ったり。

そのうち、本当は酒に強いはずの女性たちは、あきたのか、部屋でしみじみと飲みたかったのか・・・各自の部屋に戻っていった。

そこから先は、ますますテンションは上がる。窓の外では、このグループとは違う人たちの声。記者はそっと窓を開け、ああ空気がおいしいと満天の星を見つめながら、明日の朝を思いやるのでした。湯田の、西和賀町のフェスティバルは場外の討論と、町の人々の優しさで持っているのです。



山形のこんにやく

料理の銘酒・・・じゃなかった名手、劇団山形が山形名物玉こんにやくが交流会に登場します。どうぞご期待下さい。

